「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する　“Global Kawasaki”」

川崎重工グループは、世界を取り巻く社会課題に対し、
多様で高度な技術力を駆使して課題解決に貢献することにより、
新たな価値を創造し続けます。

グローバルな社会課題

- グローバル化に伴う移動・輸送の活発化
- 環境リスクの高まり
- 新興国：社会インフラの不足
- 先進国：高齢化・労働人口の減少

川崎重工グループの経営資源

財務資本

投下資本 …… 9,158億円

製造資本

グローバルな生産体制

設備投資 …… 669億円

主要製造拠点

日本 …… 19か所

海外 …… 21か所

知的資本

- 120年にわたる経験・ノウハウ
- 広範な領域における高度な技術力

研究開発費 …… 487億円

人的資本

最高品質を追求する技術集団

従業員数 …… 35,691人

社会/関係資本

- Kawasaki ブランド
- 長年蓄積された取引先との信頼

自然資本（単体）

エネルギー使用量（熱量換算合計） …… 6,291TJ

原材料（鋼材）素材としての購入量 …… 11万トン

（2018年度実績）

事業活動と戦略

カワサキバリュー

（重きを置く価値：戦略・施策立案の立脚点）

- 多様なお客様の要望にこたえる
- テクノロジーの頂点を目指す
- 独自性・革新性を追求する

事業ポートフォリオ

価値創造のドライバー

中期経営計画「中計2019」
（注）詳細は「トップメッセージ」（P.10～17）をご覧ください。

Kawasaki-ROIC経営
（注）詳細は「財務戦略」（P.20～21）をご覧ください。

事業活動を支える基盤（ESGへの取組み）
（注）詳細はP.39～57をご覧ください。

主なアウトプット

時代をリードする画期的な製品・サービスの提供
（注）詳細は「技術開発」および「Kawasaki Hydrogen Road」（P.22～25）をご覧ください。

主な製品
（注）詳細はカンパニー別の事業戦略（P.26～38）をご覧ください。

税引前 ROIC※ …… 4.5%

ROE …… 5.8%

（2018年度実績）

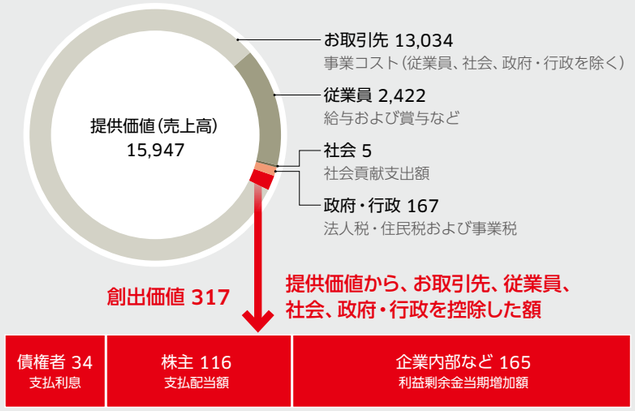
事業活動による CO_2 排出量（単体） …… 30.1万トン

製品貢献による CO_2 排出量の削減効果（単体） …… 2,912.6万トン

（2018年度実績）

※ROIC：Return On Invested Capital,
事業を投下した資本に対して、どれだけの利益を上げているのかを図る指標

創出価値およびステークホルダーへの価値配分（億円）



（2018年度実績）

外部環境とリスク

産業構造の変化
- 技術革新
- AI、IoTの進化

気候変動
- 地球温暖化
- 大規模災害

為替の変動
- 海外売上高比率が高く収益に影響

経済動向
- 設備投資による影響

創出する社会価値

- 陸・海・空における安心・安全、クリーン、快適な移動・輸送手段の提供
- クリーンエネルギーの創出
- 新興国を中心とした社会インフラの充実
- 自動化による高齢化・労働力不足への対応